

予算要求資料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係 電話番号：058-272-1111(内2618)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,848 千円 (前年度予算額： 15,848 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	15,848	0	0	0	0	0	0	0	15,848
要求額	15,848	0	0	0	0	0	0	0	15,848
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県出身で日本女子陸上界初の五輪金メダルをもたらした高橋尚子氏を大会長とする国際ハーフマラソン「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の開催を契機に、「ぎふ」の観光資源を積極的にPRすることで、活力ある地域づくりを推進していく必要がある。

(2) 事業内容

県は「清流の国ぎふ」の魅力を積極的にPRするとともに、実行委員会に参画し、その開催に要する経費を一部負担する。

【2023大会開催概要】

- 開催時期 令和5年4月23日(日)
- 開催方式 実行委員会形式
(構成：県、岐阜市、(一社)岐阜陸上競技協会、
(公財)岐阜県スポーツ協会、(株)中日新聞社)
- コース ハーフマラソン、3キロコース
- 参加予定人数 約10,000人

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ」の観光資源を積極的にPRし、活力ある地域づくりを推進していくためには県負担が必要。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	145	関係団体との交渉、調整等
需用費	600	事務消耗品費等
役員費	100	通信運搬費等
委託料	9,003	開会式での県PR業務、おもてなしマップ作成、 駐車場警備業務
負担金	6,000	実行委員会負担金
合計	15,848	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
- ・第2期岐阜県清流の国スポーツ推進計画
(IV地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり)

(3) 後年度の財政負担

大会開催の経済波及効果を勘案しながら、事業の継続性を検討していく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

オリンピック金メダリストである高橋尚子氏と関わることができる清流ハーフマラソンを継続的に開催することで、地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを目指し、スポーツ実施率の向上を目指す。

さらには、大会を通して活力ある地域づくりを推進し、さらに「清流の国ぎふ」の魅力を全国に発信する

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H23)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①スポーツ実施率	43.6%	46.2%	65.0%	65.0%	65.0%	71.1%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	第10回記念大会として、スポーツに親しむ環境づくりはもちろんのこと、大会を通じた活力ある地域づくりを推進し、「清流の国ぎふ」の魅力を発信するため、歓迎レセプションや会場イベントにおける県産品コーナーの設置、地元のまちづくり団体や地元商店街等と連携した盛り上げ事業などによる地域密着型の観光関連事業を同時展開できるよう準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大会延期となった。
令和3年度	令和2年度と同様に、大会準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンラインハーフマラソンとして実施することとなった。
	指標① 目標：65.0% 実績：46.2% 達成率：71.1%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	本大会は「清流の国ぎふ」の魅力を国内外へ発信する絶好の機会であり、また、大会を通じて活力ある地域づくりへとつなげることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	大会を通して「清流の国ぎふ」の魅力を発信し、また、各種盛り上げ事業等により地域活性化が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	実行委員会の各構成員が、協議運営や事業運営などを分担して実行することにより、業務の円滑な実施につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会を通じて、「清流の国ぎふ」の魅力をより積極的にPRし、地域活性化や観光振興につなげていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地元密着型イベントとして、より一層地元団体や地域住民の参加を促し、地域活性化を推進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】